

研究実施のお知らせ

2025 年 4 月 20 日 ver.1.0

2025 年 5 月 1 日 ver.1.1

研究課題名

ヨード造影剤投与量減量が肝実質-肝血管コントラストに与える影響の評価

研究の対象となる方

2023 年 10 月から 2025 年 3 月の間に島根大学医学部附属病院で Dual energy ダイナミック造影 CT 施行歴があり、ヨード造影剤投与量を減量した方。

研究の目的・意義

通常のCT撮影は単一管電圧(120kVp)で撮影を行います(Single energy CT)。Dual energy CT は低い管電圧と高い管電圧 (80,140kVp など)で撮影を行います。管電圧を変化させると同じ物質であっても、その色合い (CT 値) に変化が起こります。2 種類の異なる X 線エネルギーで撮影されたデータを解析することで、Dual energy CT ではさまざまな画像解析が可能となります。ヨード造影効果を強調した画像だけではなく、ヨード造影剤や水を強調した物質密度画像も作成可能です。

ただし、ヨード造影剤を使った造影 CT 検査では、造影後急性腎障害が問題となります。腎機能低下症例ではヨード造影剤量を減量する必要がありますが、同時に造影効果・画質を担保する必要があります。

GE HealthCare 社製 CT (Revolution Apex Elite) で撮影済みの画像を用いて、ヨード造影剤投与量による肝実質と肝血管とのコントラストへの影響を評価することが本研究の目的です。

研究の方法

2023 年 10 月から 2025 年 3 月までの間で、ヨード造影剤投与量を減量した Dual energy ダイナミック造影 CT 画像を評価します。CT 画像および診療データ (年齢、性別、腎機能、ヨード造影剤投与量) を用いて、肝実質-脈管の造影効果差(コントラスト)を後ろ向きに評価させていただきます。この評価は CT 値/ヨード造影剤密度値の差による数値的な方法と、1 (コントラスト不良) ~4 (コントラスト良好) のスコアを使った視覚的な方法の 2 つで行います。診療データは氏名、カルテ番号を削

除し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

研究に関するデータ及び関連資料は研究結果の最終報告を行ってから 10 年間は保管し、その後氏名、カルテ番号を削除した状態で廃棄（消去）します。

研究の期間

2025 年 7 月 2 日～2030 年 3 月 31 日まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部放射線医学講座 丸山光也

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 11 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部放射線医学講座 丸山光也

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2289 FAX 0853-20-2285